

環境月報

*Environmental Activity
Monthly Report 10. September*

9
'10 Sep.1-30



サンシン電気株式会社

サンシングループ環境方針



環境理念

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果を追求し、継続的な製品供給とRoHS対応製品の開発など地球環境にやさしい先進技術を通し、電機業界および社会へ貢献して参ります。とくに、地球環境保全のための諸活動を重要なCSRと認識し、継続企業としての責務を果たしつつ、将来にわたり地球環境の保全に貢献して参ります。

環境方針

1. 事業活動において、省資源化、廃棄物質の削減、環境関連物質の管理を徹底し、環境の維持・改善および環境汚染の予防をはかって参ります。
2. 環境に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスを徹底して遂行し、環境保全に貢献して参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた具体的な目的・目標を設定し、数値により管理できる判りやすい環境管理システムを構築・運営して参ります。
4. 環境管理システムは、定期的な内部監査・マネジメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な継続改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一步一步、着実に具現化して参ります。

平成19年8月24日
サンシングループ
代表 石井宏宗

石井宏宗

今月のグループ代表の一言

今月のグループ代表の一言



「中国が電子部品の材料となる希少土(レア・アース)の輸出を制限している。

先日の岡田外相からの規制緩和依頼にも、胡主席は「環境問題の配慮から輸出制限を続ける」という。いったいどこの国の人間が、誰に何をいっているのか？環境破壊が極まりない隣国は、自分のことさえ見えないらしい。それが中華思想でもある。

このような状況で、環境問題について生真面目に対応しているのは、もしかして日本企業だけなのかも知れない」

SANSHIN GROUP
代表 石井宏宗

レアメタル代替技術への期待と現実

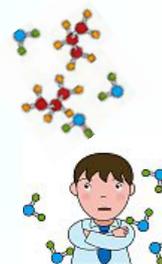
(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)ではレアメタルの使用量を削減する「希少金属代替材料開発プロジェクト」が進められています。

(下記の表、参照)

そもそもレアアースを先端技術で利用する方法を考案したのは日本人であることから、新たにレアアースに替わる代替原料や技術を開発する事が期待されています。

< 希少金属代替材料開発プロジェクト概要 >

対象元素	使用原単位の低減目標値	最終目標年度
インジウム	現状から50%以上低減	平成23年度末
ジスプロシウム	現状から30%以上低減	
タングステン	現状から30%以上低減	
プラチナ	現状から50%以上低減	平成25年度末
テルビウム・ユーロビウム	現状から80%以上低減	
セリウム	現状から30%以上低減	



「希少金属代替材料開発プロジェクト」基本計画より

9月号 INDEX

9月号 INDEX



PAGE 1 ……今月の表紙

PAGE 2 ……サンシングループ環境方針

PAGE 3 ……今月のグループ代表の一言

PAGE 4 ……INDEX

PAGE 5 ……今月のトピックス

PAGE 5 ……急減する北極海氷

PAGE 6 ……環境活動の現況

各管理項目の今月の状況

- 各項目の今月の監視測定結果詳報 -

PAGE 7 ……コピー用紙使用量(SSD / 本社・関西)

PAGE 8 ……エコ製品取り組み(SKW / 朝日工場)

PAGE 9 ……電力使用量(SSD / 本社・関西)

PAGE 10 ……電力使用量(SKW / 朝日)(SFN)

PAGE 11 ……各廃棄物(SSD / 本社)

PAGE 12 ……各廃棄物の割合(SSD / 本社)

PAGE 13 ……ペットボトルのキャップ(SSDG)

PAGE 14 ……各部門の活動報告・提案

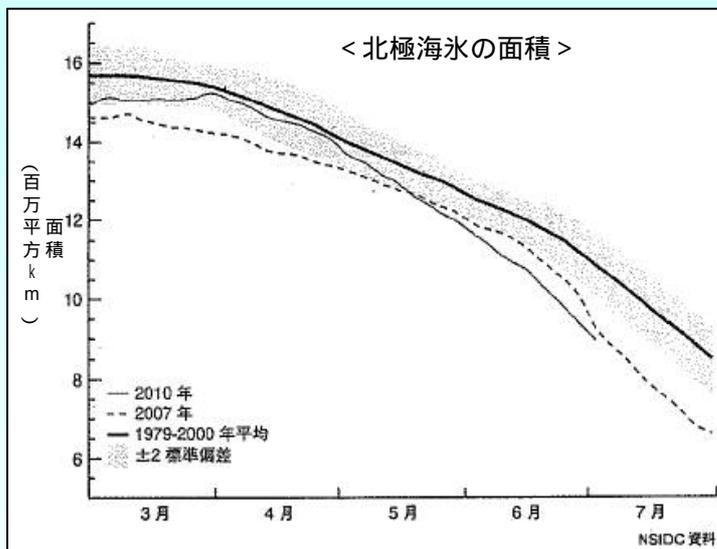
PAGE 14 ……1F倉庫整理

(SSD / ロジスティクスG)

今月のトピックス

急減する北極海氷

北極海氷が、急減しているとの報告がありました。
米国雪氷データセンター(NSIDC)によると今年の5月の日平均の減少面積は、1979年～2000年、同月平均より約5割も多い6万8千平方kmに達し、衛星観測を開始して以来の最大値を記録しました。
このまま推移すれば、夏季の海氷面積が最小となった2007年の記録を更新する可能性があります。



今年5月の北極海域における大部分の平均気温は、平年より2～5℃高く、同月の北極海氷の平均面積は1310万平方kmとなり、1979年～2000年の5月平均と比較すると日本の国土面積、各1.3倍に当たる約50万平方km減少しました。



また、北極海氷の体積が1979年～2009年の5月平均より32%少ない、1万9千立方kmとなり、最小値を記録しました。
今後の気象条件にも左右されますが、現状のまま推移すると仮定した場合、夏季の北極海氷の最小面積を記録した、2007年9月の413万平方kmを更新する可能性も出てきています。



私の主観ですが、今年の猛暑の影響が北極にも表れていると思います。
サンシングループで行なっている、日々の環境活動を継続していくことで、このような温暖化の現象を少しでも食い止めていきたいと考えます。

事務局

環境活動の現況

32期8月度、環境活動「監視測定結果」を期累計比較で表示しました。

環境側面	監視測定結果 (%)				
	-50	-25	0	+25	+50
コピー用紙 使用量					
エコ製品					
電力使用量					
一般廃棄物					
一般産業廃棄物					

凡例

	改善されている		変化なし (含・数値微増減)		悪化している
---	---------	---	-------------------	--	--------

考 察

今年の夏は、猛暑日が多く、電力使用量が増加したことも表れています。そのような気温の中、エアコンの設定温度、28度を守って頂き、ありがとうございました。

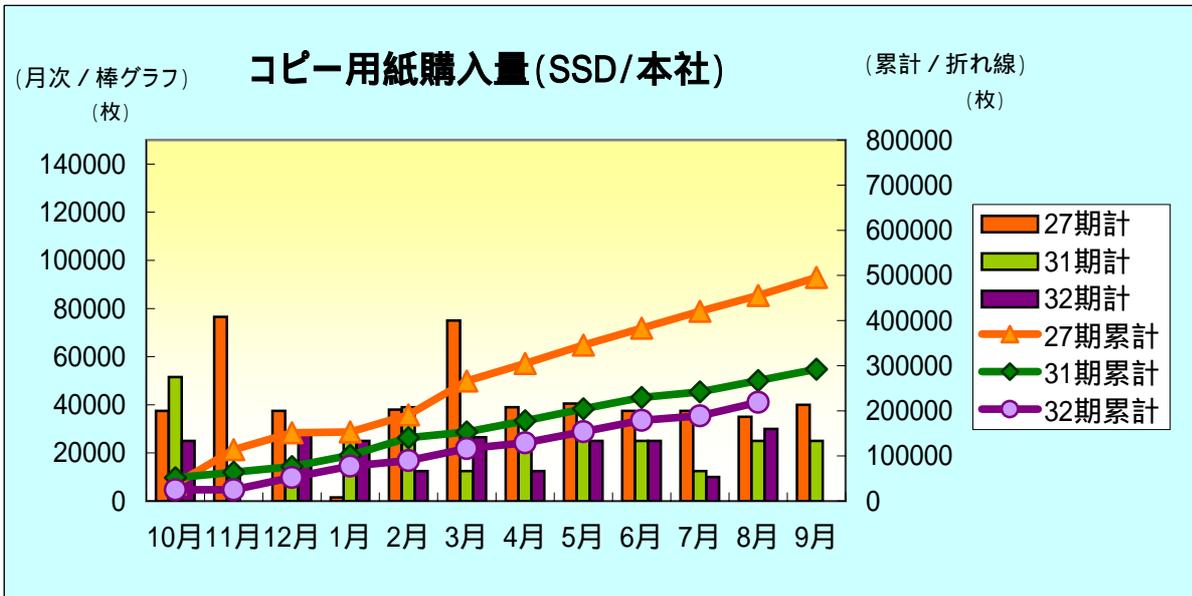
〳(〳)(/)/ 事務局

環境管理責任者より

やっと猛暑が治まるか(9月15日)、すごしやすい(東京だけか!)状態です。今期 32期も最終月です、来期の環境活動の目的も決まりました、電気・コピー用紙削減に留まらず、私たちが扱う製品で社会貢献を目指すのが大きな特長になっています頑張って行きたいと思います、皆様のご協力宜しくです。

環境管理責任者

SSD(本社)

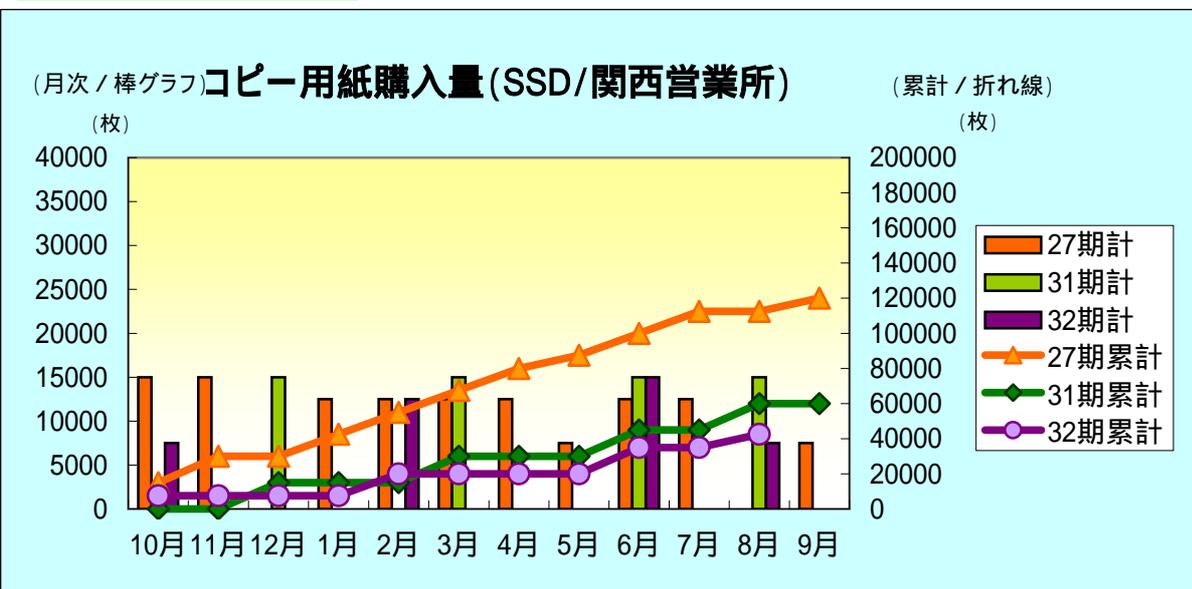


考察:

8月を見ると前年より、コピー用紙購入量が増加しています。

事務局

SSD(関西営業所)

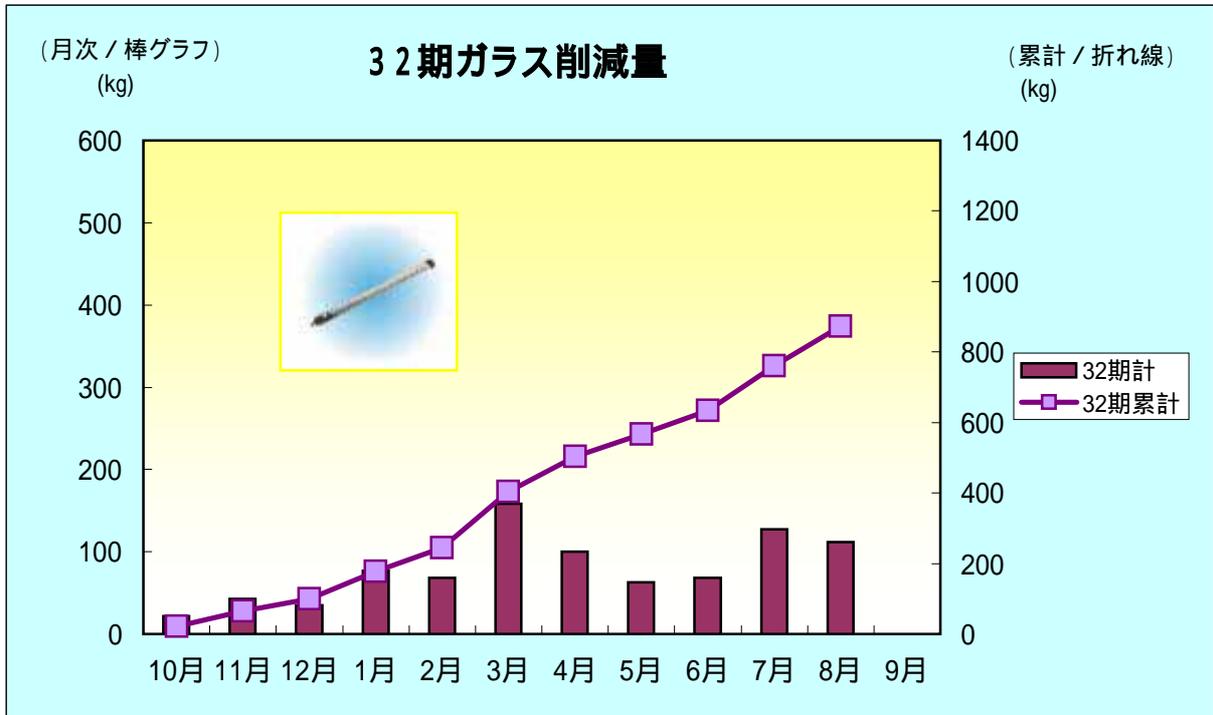


考察:

順調に、コピー用紙購入量が削減していますが、50%削減目標に対して届かず、33期に期待したいです。

事務局

SKW(朝日工場)



考察:

確実に資源のムダを省き、限りある資源を有効活用しています。

事務局

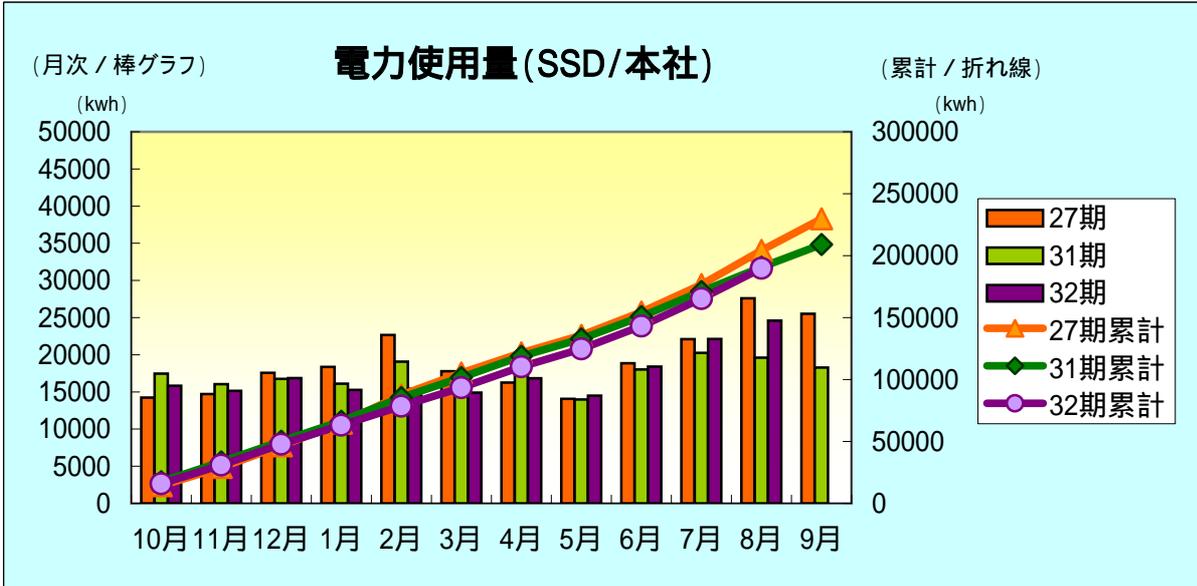
環境月報の編集を来期から、変えようと考えています。先日のアンケートを生かし、見やすくまた、取り上げるデータも私達が扱っている開発製品及び販売するエコ商品など、もっと興味が示せるものにしていきます。

皆様のご要望がありましたら、それも取り入れる所存です。大いに意見を寄せていただければ幸いです。



事務局

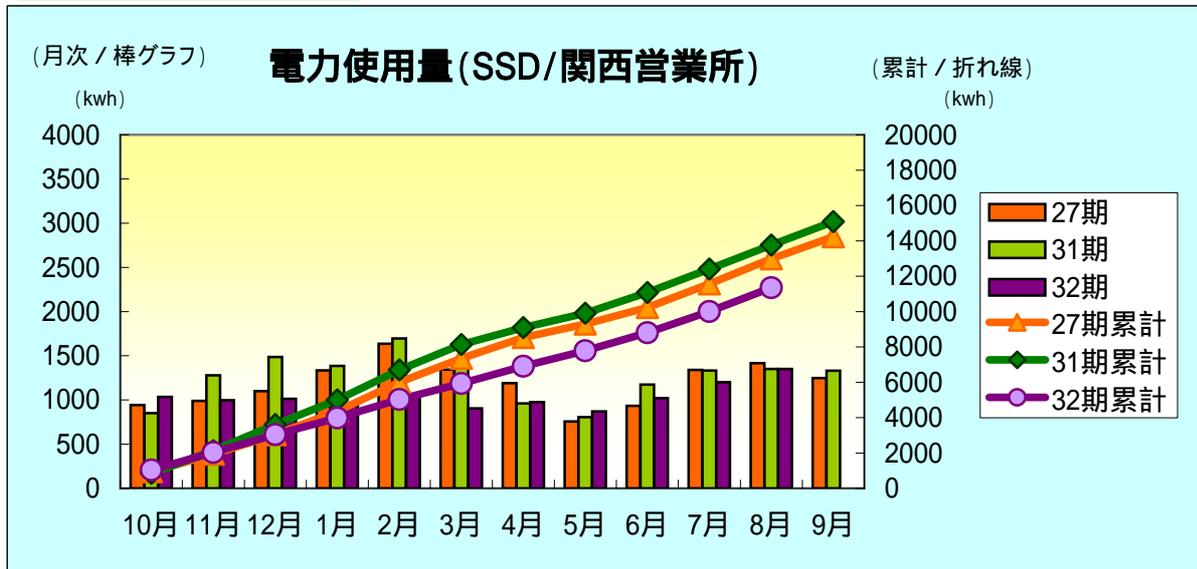
SSD (本社)



考察:

猛暑の影響を受け、7月8月と電力使用量が増加しました。
9月15日を見るとやっと涼しさを感じられ、使用量も少なくなると見込まれます。
事務局

SSD (関西営業所)

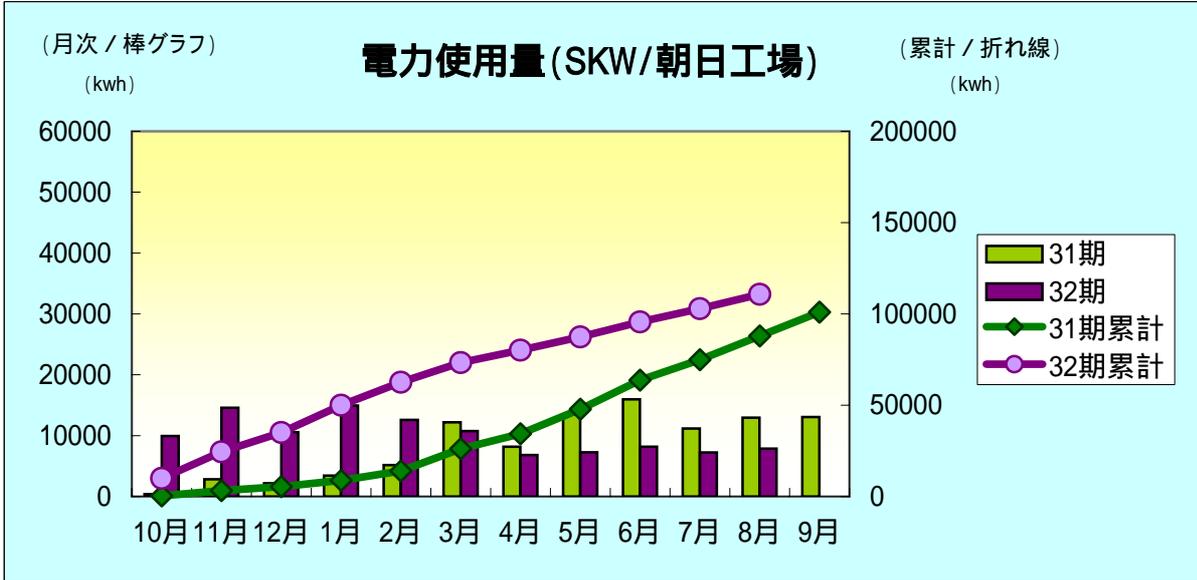


考察:

取り組み活動対象になりませんが、監視対象として推移を確認して行きます。
8月は、やはり猛暑の影響と見られます。

事務局

SKW(朝日工場)

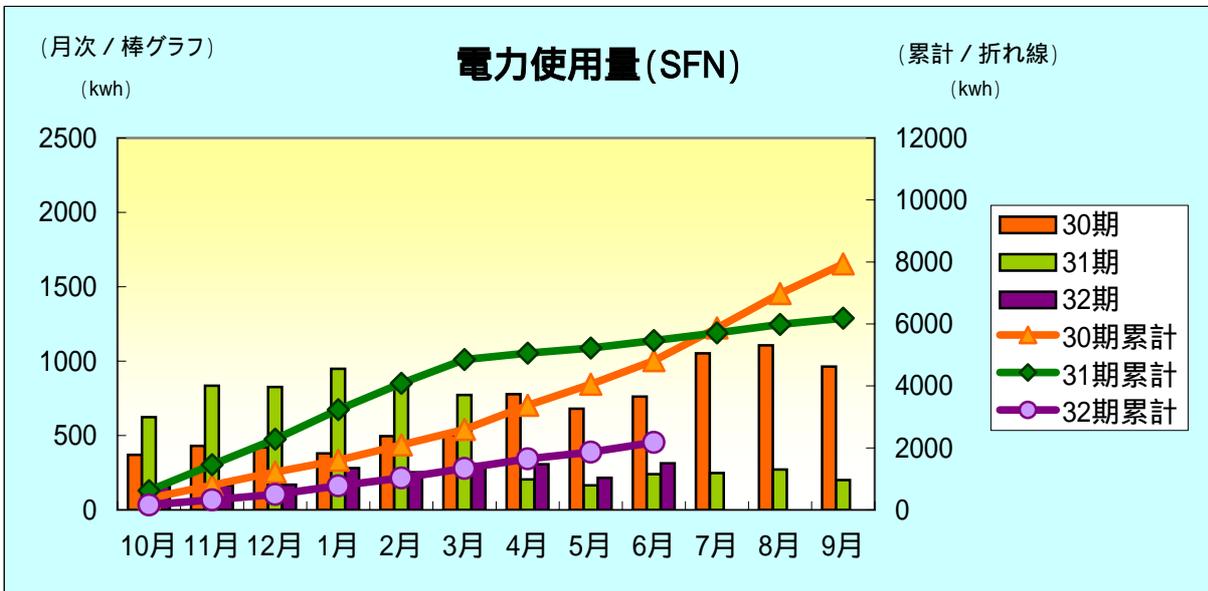


考察:

新工場としての本格活動は、未だ1年を経過していない為、前年同月との比較は出来ない状況にあり、今後の推移をモニタリングし対応を進めます。

事務局

SFN

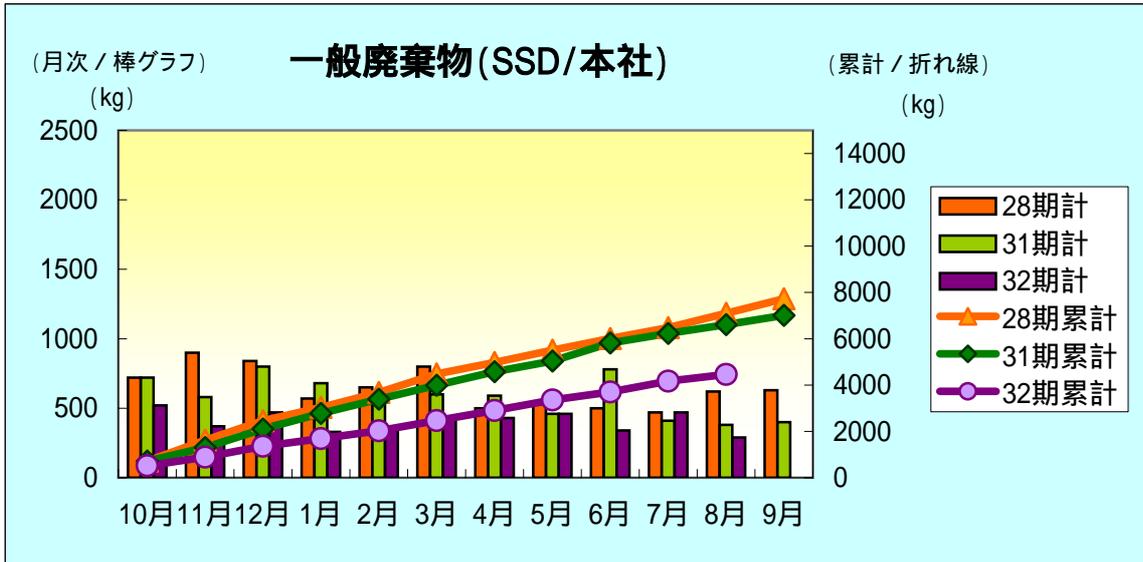


考察:

低水準で推移されると予測されますが、監視対象として進めます。

事務局

SSD(本社)

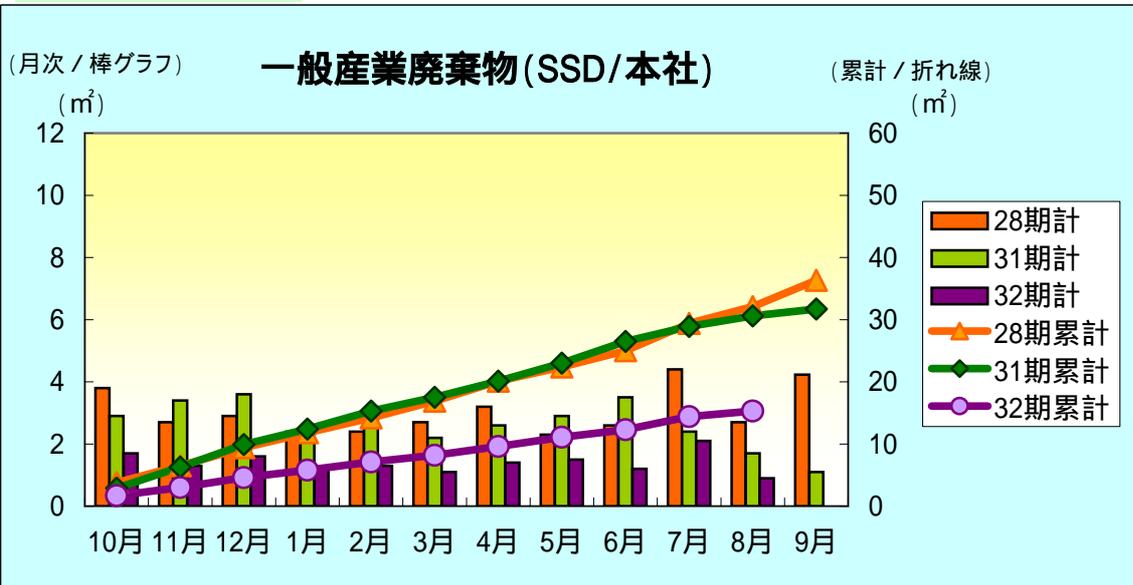


考察:

8月は夏季休暇があり出勤日が少なかったため、廃棄物の量が少なくなったと考えられます。

事務局

SSD(本社)

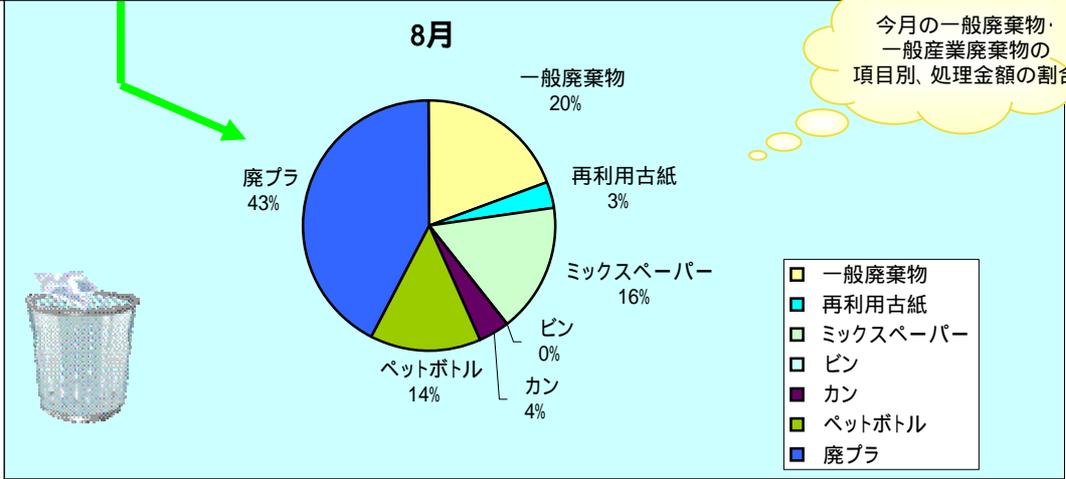
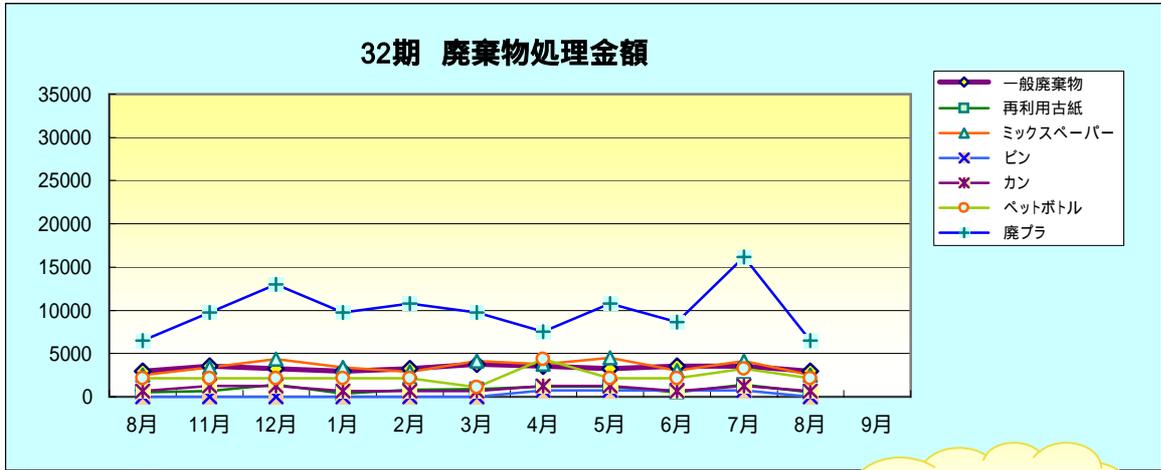
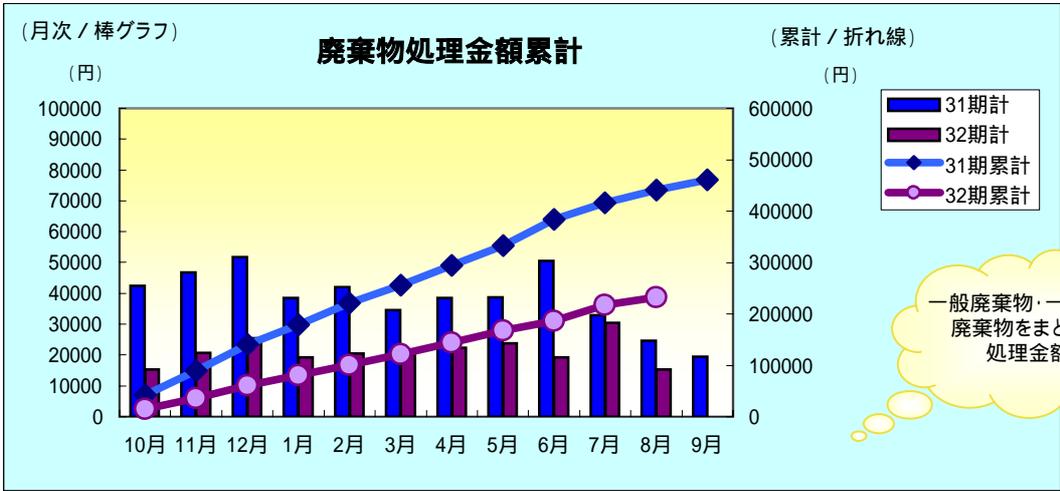


考察:

一般廃棄物と同様なことが原因と考えられます。

事務局

SSD(本社)



考察:

主観ではありますが、猛暑の影響もあり、ペットボトル飲料の消費量が多かったと思われますが、全体の廃棄量は削減傾向にあります。

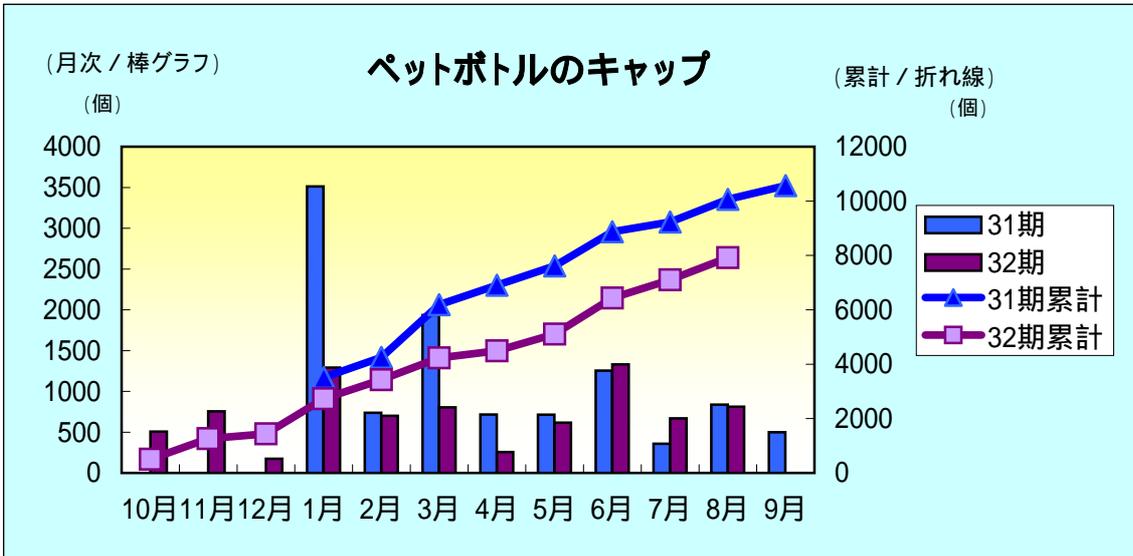
事務局

全社活動項目 (Part-7/7)

ペットボトルのキャップ

SSDグループ全社

換金率:PETボトルキャップ
400個(約1kg) = 10円



考察:

みなさんのおかげでペットボトルのキャップが集まり、今月、NPO法人に回収に来て頂きました。いつもご協力して頂き、ありがとうございます。 <(_ _)*>

(事務局)



1F倉庫整理

8月25日ロジスティクスGでは1Fの外にあります倉庫の整理整頓を行いました。今まで、一部の預り品や電源が保管されていましたが、保管環境が良くないためB1F・アウトソーシング先へ移動しました。



B1Fの温度・湿度です。見づらいますが、地下なので温度・湿度ともに安定しています。



一方、こちらは1F倉庫の温度・湿度。特に最近暑い日が続いているので、温度が非常に高くなっています。

1F倉庫は外にあるので、外気の影響を受けやすいです！



整理前の1F倉庫。…一時保管預り品・電源等が保管されています。



整理後の1F倉庫。展示会用の写真パネル等を保管しています。

今までは不動態在庫や大型商品の一時保管場所として活用してきましたが、今後、運用規定を整備し、備品等の保管場所として活用する予定です。

モノを売る上で、保管場所をどうするか、ということは避けて通れない問題ですがそれよりもまず大事なことは「長期(不動態)在庫を作らない」ということです。各部署で連携して、効率良く出荷できるようにすることが必要です。

(ロジG)

1F倉庫内の温度・湿度が外気の影響を受けやすいので、保管するものが温度・湿度の影響を受けやすいものなのか考えた上で保管する必要があると、改めて実感しました。

このコーナーは各部署からの投稿で作成されることになり、次回が楽しみです。事務局